

福島と茨城の人と人
心と心をつなぐ



第11号 2015年1月発行

ふうあい おたより

contents

- 人から人へ… 2
- ふくしまレシピ… 3
- 気になる数字… 3
- んだったのか!?… 4
- んだったのか!?… 5
- 行ってきました～… 6
- 行ってきました～… 7
- 今日のつぶやき… 8
- 3分エクササイズ… 8

次号表紙を飾る
福島県の写真を大募集しています。

「いわき回廊美術館」

平成 25 年 4 月にオープン。長さ 99 メートルある回廊を歩きながら作品を鑑賞できます。現在 2 千本の桜が植樹されており今後 99 年かけ 9 万 9 千本の桜を植樹していくそうです。

撮影者：小野田 明

(双葉町から水戸市へ。茨城大学大学院生。被災地をテーマとした映画「ある町」制作など撮影を続ける。)



満開の桜の下でのアート鑑賞なんて・・・想像しただけでもワクワクしますね。

タケダ・赤い羽根
広域避難者
支援プログラム

「ふうあいおたより」は、福島県地域づくり総合支援事業並びに
タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラムの助成を受けて発行しています。

発行 ふうあいねっと

震災と原発事故により福島県などから茨城県に避難されている方々をサポートするためのネットワーク組織です。

〒310-0056 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部A413
TEL 029-233-1370 FAX 029-233-1370
Email fuai.sta@gmail.com

事務局の電話番号が
変わりました！

人から人へ

長谷川美幸^{みさき} 南相馬市から水戸市へ
 2014年4月に震災後から避難者支援活動を行ってきたメンバーを中心に「じゃあまいいかねっと」を設立し、水戸を中心に心のケアを目的にする企画や交流会を実施する活動をしています。

「あつ すごい揺れー」コンビニで会計を終えた時、今まで経験したことのない大きな揺れに驚き外に出ました。揺れが少しおさまってから、震災当時、年中と小3だった子どもたちを迎えに行き、その日の19時頃には家族全員で夕食をとることができました。

次の日、近くの小学校に海側から大勢の人が避難していたので、布団や使えそうなものを何度か運びました。そんな忙しくしているとき、20キロ圏内の避難指示が防災無線から何度も流れてきました。貴重品を持ち、着の身着のまま旅館市役所近くの駐車場、次の日は福島市内の病院の駐車場でガソリンの減りを抑えるためエンジンを切り、寒さしのぎにホッカイロを身にまとい車中泊をしました。

その後福島島の避難所から、単身赴任で茨城県に住む夫のところに向かうはずが道をまちがえて栃木県に行ってしまう、2週間後にやっと茨城県にたどり着き、アパートを借りて子どもたちを近くの幼稚園と小学校に無事に入学させることができて、初めてほっとできました。ただ、アパートが5階で身動きできなくなったせいか、認知症初期の84歳の祖母の症状は悪くなっていきました。

なんとか1年後一戸建てを借りることができて、祖母も安心してデイサービス



アロマセラピー&リフレクソロジー

スを利用できるようになりました。自分の時間が取れるようになった頃に「福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト茨城拠点」のイベントに参加して茨城県内への避難者・支援者ネットワーク「ふうあいねっと」があることを知り、12月に交流会を通して知り合った避難ママと地元ママで「ふうあいママの会」を作り、月に1回ほっこりとした交流会を開いていました。それは心身ともに疲れ果てた、私の心の支えと安らぎになりました。

2014年の春、「ふうあいねっと事務局」の移転と、仲良くしていた地元ママが東京に引っ越しをしてしまったり、続けて辛いことがありました。その時に自分のように突然につながりを失った人がいるのではないかと考え、4月に友人・知人の協力で、支援グループ「じゃあまいいかねっと」を結成しました。傾聴講座を開いてみんなで心のキャッチボールのしかたを学んだり、心があつたまる交流会などを開催しています。いろんなことを考えて眠れない夜は子どもたちの寝顔を見て、心を立て直しています。また、専門的な心の勉強もちょっとだけはじめました。子育てと支援の両立は大変ですが、周りの方の協力やパワーをいただきながら、新しい方との出会いを楽しみに、細く長く続けていきたいと思えます。



▲X'mas 音楽会



▲講演会「子ども子育ての今とこれから」



▲体と心をほぐすストレッチ運動



▲ウェディングピアニストの友人と



んめえ〜

ふくしまレシピ

し 凍み餅ぜんざい

レシピ提供
浪江町出身 田中さん



〜凍み餅のはじまり〜

江戸時代の天明・天保の大飢饉の頃から作られていた。凍結するほどの厳しい寒さと乾燥する冬の福島の気候を利用し、くず米を餅やだんごに加工した保存方法で長期間保存可能。

春の忙しい時期の昼間にみんなで食していた。



もちカーテンの中で
写真提供 葛尾村

材料 (5人分)

- | | |
|---------|----------|
| 小豆 250g | 塩 小さじ 1 |
| 三温糖 70g | 凍み餅 4〜5ヶ |

作り方

- 凍み餅を水に1〜2時間つけてもどす。
- 小豆をさっと洗い鍋に入れ、水1ℓを入れ強火で沸騰させる。
- 沸騰したらすぐ、ザルにあげ流水で流す。再び1.5ℓの水を入れ弱火でコトコト煮る。
- 途中、3回の差し水とアクを取りながら煮る。
- 味見をしてみて小豆の芯がなくなり、柔らかくなったら三温糖、塩を加え10分煮る。
- 水分を取り、焼いた凍み餅を器に入れ、あつあつの小豆をかけて出来上がり。

葛尾の凍みもちには蒸したフキの葉も入ってたから、つんと体にいいよ〜

凍み餅の作り方

材料

- もち米 3kg
- 米粉 (うるち米) 1kg
- もち草 (冷凍) 1kg

作り方

- 一晩水につけたもち米を蒸しあげる。
- もち米が蒸せたところに、熱湯で練った米粉をもち米の上のせて蒸しあげる。
- 蒸しがたったものに、もち草を混ぜてつく。
- つきあがった餅を型に入れて2〜3日おいて、固くなったら1cmぐらいに切り、藁又はひもで編んで水に浸し、寒い日の夜に外に出し、凍らせる。
- その後、干してよく乾燥させる。

気になる数字

茨城県の土地情報の紹介第2弾。今回は県央地区・県南地区です。

平均的な住宅を建てる坪数 50〜120坪 (4LDK) で算出

【県央地区】	平均取引価格	坪単価
水戸	882万円	11万円
ひたちなか	841万円	11.9万円
東海	992万円	11.9万円
小美玉	297万円	3.5万円

【県南地区】	平均取引価格	坪単価
土浦	649万円	8.6万円
竜ヶ崎	686万円	9.7万円
取手	924万円	12.9万円
つくば	1263万円	16.9万円

※取引価格は、面積や形状、前面道路の状況など個別要件によって変化します。
※同一不動産であっても、取引が行われたなどの事情で価格が異なることがあります。

データ：国土交通省土地総合情報システム
データ提供：㈱日立ライフ H26年12月5日

んだったのか!?

一時帰宅 (居住制限区域)

(題字 石田恵)

原発事故後、3年半以上が経過した福島を知るために、福島の方(浪江町)の一時帰宅に同行させて頂きました。



いつもお会いしている方が、浪江に残しているご自宅。防護服を着てお宅にお邪魔するのは、申し訳ない気持ちですが、仕方ありません。おじいちゃんが建ててくれた立派なご自宅は、ネズミ被害があり、きれい好きなご家族が一時帰宅のたびに掃除されています。ご家族の愛着が感じられ、思い出がたくさんのご自宅も、解体するか選択を迫られている非情。玄関先までツタが這い、道路や庭先をイノシシが歩いている光景。鍵を閉める前、薬剤の臭いで気分が悪くなるほど大量のネズミ駆除剤を撒いて出てきました。水戸から1時間半で福島第一原発を通過し、2時間弱で浪江町に到着。そこには常識や日常からかけ離れた世界がありました。遠い世界と思っていた被災地は、とても近くにありました。(水戸市在住 原口)

遠い地域のことだと思っていました・・・。

水戸を出発して1時間半、突然線量計が鳴り響き驚いた。車窓から見る景色は、茨城も福島も何ひとつ変わらない田園風景なのに。

初めて入る居住制限地域、初めて見る風景にただショックだった。田畑にはいくつもの黒い袋。草が生い茂った線路。家がひしゃげつぶされた車。

震災後何も手をつけられていない場所。

“人がいない”ってこういうことなの？

防護服を着て入る家の中。お昼の片付けの途中だったであろう台所を見て、胸が痛んだ。

地震・原発事故がなければ今も普通に生活していたはずの場所なのに、着の身着のまま避難しなくてはならなかった気持ちと思うと言葉にならなかった。(水戸市在住 山本)



同じ県民として、ニュースでは見ていたものの、現実を実際に目の当たりにしてとてもショックでした。浪江駅前にあった地図。山の幸も海の幸も豊富で、祭りなどの文化も根付いていたこの土地で、豊かに暮らしていた人々のことを考えると胸が押しつぶされる思いになりました。根元から「除染」という名のもとにバサリ切られた梨の木々。この土地の持ち主はどんな思いだったのだろう。校庭が草ボウボウになった小学校。ここの生徒たちや卒業生の住民はこれを見たらどう感じるだろう。

そんなことはこの関東では知る由もない。この社会の矛盾に、再び悲しくなりました。

それぞれの立場で、いろいろ考えて動いてきた福島県民。やっちゃんくないことも、考えたくないことも、やるしかない。さすけねえっ！めめくったとこだ！(まだ始まったとこだ)と言われながら言いながら、この先も進もう！と思います。(三春町から石岡市 渡部)

少なくない数の車の往来。道路に面した宅地の入口に設置されたシャッター。暮らしの余韻があるのに雑草が生い茂っている宅地や田畑や駅。家の中の傷み。思った以上に多くの警察官や警備員や除染作業員。表土を削り取っている田畑。多くのフレコンバックや汚染土を覆うカバー。多くの人の手が入っている分だけ、時や空気の動きを感じる場面もありました。ただ、何より思ったのは「人」のことでした。この町の暮らしと今の場所での暮らしの中で、料理や洗濯、買い物やお付き合い、楽しみや休日の過ごし方、気持ちや感じ方など、ご自身の「毎日のこと」にどんな変化があって、そして何が支えになっているのかを聞きたいと思いました。(水戸市在住 天井)

ゲートを開くと、あちらこちら除染や道路の整備が見受けられ、震災前と姿を変えていく、田畑・庭・森。「ただいま～」と、言ってもこだまするのは、いつも自分の声だけ。周りがきれいになっても、生前自分が建てた家が朽ち果てていく様を仏壇の陰から見ている父はさぞ悲しかろうね。「この家に住む気あんの？」と言われた言葉はくやしかったな。ネズミたちにいたずらされた古米を、除染された畑にまき、1匹2匹と生き物がおとずれ脇目も振らずに食べている姿をみると、小さな生き物でさえ愛おしい。いつか家族とともに「ただいま！」と、帰れる日がくる日を夢見たっついよね。ついこないだまでみんな楽しく暮らしていたんだもの…(浪江町から東海村 田中)

1年ぶりの一時帰宅。

家は無事にたっているか、中はどうなっているかそんなことを考えながら到着。

外に植わっていた植物のつるが玄関を覆っていて、恐怖が増す。

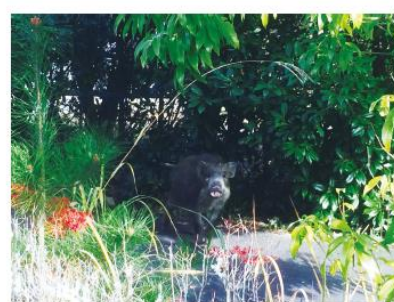
おそるおそる中に入るとネズミのフンがあちこちに散乱！

子どもの産まれた時の写真や、じいちゃんに買ってもらった学習机、今じゃ履けないくらい小さい靴を見ると、なんとなく胸が痛む。帰るたびに思うのは次はいつ来ようではなく、いつ来たいと思うのかということ。

心の移り変わりに、なんとなく故郷を見捨ててしまったという罪悪感にかられています。

それでもホッとするのは、やっぱりここが好きだからなんだなー。

(浪江町から日立市 石田)



神戸日程

11月1日(土)
午後 真野地区まちづくり推進会 清水様

11月2日(日)
午前 野田北ふるさとネット 河合様
午後 水俣病患者 坂本様(大阪府立大)

11月3日(月)
午前 よろず相談室 牧様



「神戸視察研修」

2014年11月1日～3日の2泊3日で、茨城で暮らしている福島の方、大人・子ども総勢18人で神戸視察研修に行ってきました。

今の福島の方々の中に響いた水俣病患者・坂本さんの言葉をご紹介します。(ふうあいねっと事務局)

水俣では、昭和31年に水俣病の公式発見があった頃、原因が分からなかったので感染症と疑われ「奇病」と言われました。共同井戸なのに、水も汲ませてもらえないほどの村八分。大阪に出てきても、どんな風にもみられるのか怖くて、友達を作れませんでした。今も、ここでの友達は数人程度。皆さんには負けないでほしい。同じ立場の人、仲間同士で集まって、今の現状を乗り越えてほしいし、たくさん友達を作ってほしい。それが私から皆さんへの言葉です。



坂本美代子さん・プロフィール

76歳。
家族9人中、5人が水俣病認定患者。20歳ごろに大阪へ。その後、水俣病関西訴訟に参加。今も頭痛がひどく、交流中も3回ほどお薬を飲まれていました。

水俣の例から感じたことは、風評とは差別だということです。言葉自体はやわらかいですが、自分の勝手なイメージで相手を排除するいじめだということを感じました。神戸の復興の取り組みも見えてきました。災害があって復興があるわけではなく、震災前からのまちづくりの延長だということを感じました。復興で大事なことは「被災者をコミュニティから離れたらあかん」ということ。災害後の時間の経過や仮の町による復興がはたして町民の期待に応えられるか、復興の成否がここにかかっています。巨大な予算を投入され、行政との交渉も多くなりますが「交渉とは相対するものではなく対話するもの」ということが、神戸を見て得た教訓です。神戸視察団長 浅野秀蔵(大熊町)





10月13日、日立市の県北生涯学習センターで行われた「震災復興応援マルシェ」に参加しました。今お世話になっている茨城の方へ私たちの故郷の味「浪江焼きそば」を食べていただき、売上の一部を除く全てを広島土砂災害義援金として送りました。当日は台風の影響も心配でしたが、自分たちで作って販売することも初めてで、開始30分はなかなか上手く焼けず大丈夫なのか、商品として出せるのかなど不安もありましたが、無事に完売することができました。合計69,300円を広島県共同募金会に送ることが出来ました。出店にあたり、協賛頂きたいばらきコープさん、協力頂いた浪江町復興支援員のみなさん、ありがとうございました。茨城の方に少しでも私たちの思いを伝えることができた、いい機会になりました。 Happy Ibaraki Fukushima (H.I.F) 石田



きまじい。たち。

秋晴れに恵まれた10月25日、県北生涯学習センターでふうあいねっと主催の広域交流会を開催しました。福島県避難者支援課・課長の野地誠さんより福島県の現状報告、続いて除染の状況を日本原子力学会・会長の藤田玲子さんより説明がありました。質疑応答も活発に交わされ、皆様の除染に対する関心の高さを知りました。参加者は少な目でしたが、南相馬市、大熊町、双葉町、富岡町、浪江町などの自治体や支援員との交流を深めることができました。交流会終了後も、皆様のお話は止まらず・・・最後まで残って片付けも手伝っていただきました。至らないところも多々あったにも関わらず、皆様からは「ありがとう」と言ってくれました。ご参加下さった皆様ありがとうございました。

(ふうあいねっと事務局山本)



行 っ て



秋晴れに恵まれた10月18日「元気つく場でおしゃべりしましょ!!」を合言葉に、避難者の集いを開催しました。参加者は関係者を含め150人を超える盛況となりました。この集いは、平成24年に続く2回目の開催で、今回もしゃべり場に加え、浪江町出身の民謡歌手「原田直之さん」のご厚意による民謡ステージで素晴らしい歌声を堪能しました。

特に最後に原田さんの「相馬盆唄」に合わせ、ステージと観客席通路でたくさんの皆さんと一緒に踊った盆踊りでは最高の盛り上がりとなり、避難者同士のみならず、ご支援下さっている皆さんや地元の皆さんとの絆を強く感じる事ができました。

楽しみ、元気を分かち合い、復興の日まで頑張る糧となる貴重な一日となりました。

ご参加くださったたくさんのすべての皆さまに心より感謝申し上げます。

「元気つく場会（いい仲間つく浪会）古場」

【自主避難者交流会】@つくば市松代交流センター

自主避難者とは、「原発事故後、国の避難指示のない区域から自主的に避難している人々」のことです。それぞれの思いがあって避難しているのですが、「国の避難指示がないのに、自宅があるのに、避難している」ということで、家族や地域の理解を得られにくい状況もあります。思いを共有する相手がないまま3年以上の月日が経ち、人間関係や生活面で苦しんでいる方がいるのではないかと、ということで9月、11月と2回の交流会を開催しました。

福島県職員の佐原さんにも毎回来ていただいています。県内の状況をお話いただいたり、区域外通学などの手続きの大変さへの改善策や、子供たちも避難先で慣れたため県外で自立を考えている県民への県の支援についてなどの質問がされました。それに対して次の会に向けて、回答をご準備くださっています。こういったやり取りや、互いの状況を知ること、長引く避難生活を改善していけるように、と集まりをしています。

次回は2月10日（火）つくば市松代交流センターにて10～12時です。託児もありますので、ご参加ご希望の方は下記のいずれかにお申込みください。

また、お近くに自主避難の方がいらっしゃいましたら、お声掛けください。

林崎 080-6733-2312

渡部 080-5568-4139

武田 090-6188-4739 takeda@tsukuba-g.ac.jp



松代公営住宅のつくば市民の方がフットマッサージのボランティアで来てくださいました



小さい子どもさん連れも参加。学校での手続きのことなど、これからのことをいろいろ聞くことができました

今日のつぶやき

福島から避難してきた人、地元が茨城の人の声を集めました。

交流会に参加して自主避難の方々の悩みや苦しみを聞いて良かったです。 40代女性

色々な集まりがあっても、自分から連絡することにとまどいがある所に、電話で連絡をもらい気軽に参加できました。体操も楽しくできました。また集まりに参加したいです。 広野町→水戸市 40代女性

申告で頭を痛めています。避難先にいると家の掃除をしなければと思い続けていますが家へ戻ると気力がなえて、2～3時間で戻ってきてしまい、いつもでも片付かなくて困っています。

南相馬市小高→水戸市 70代男性

おたよりアンケートからいつも気にかけて頂いてありがとうございます。ふうあいねっと楽しみにしています。

いつもあたたかい心遣いありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

今の私たちは大丈夫なので、もっと必要な方々への心の支援をお願いします。

皆さんにお会いできて嬉しく思いました。
(賠償説明会に参加された方) 女性

ご支援いただける方へ

「ふうあいねっと」の活動・運営は、趣旨に賛同して頂ける皆さまからのご支援・ご協力を必要としています。

ご寄附いただいた場合は、別途、電話やメールにて、連絡先をお伝えいただけると幸いです。

入金先 茨城県内への避難者・支援者ネットワークふうあいねっと

ゆうちょ銀行

[記号] 10670 [番号] 15287071

*他金融機関から振り込みする場合は

[店名] 〇六八 (読み ゼロロクハチ)

[店番] 068 [口座番号] 1528707

常陽銀行 末広町支店 普通 [口座番号] 1621559

3分エクササイズ

テレビを見ながらできる簡単なエクササイズです。

ぜひ試してみてくださいね!

腰をのばしてみよう!

足を少し開いて椅子に浅く座ります。

- ① タオルを丸めてお尻の片側へはさみます。

足とお腹にボールをはさむ感じ。

- ② はさんだほうの足側に斜めに前屈します。

- ③ 倒したら 20 秒。

- ④ 反対側も繰り返す。

背中を丸めながら倒す。



次回は1月29日 11時からです!
一緒に体操してみませんか?
詳しくはイベント一覧にて



ふうあいねっとから

「ふうあいねっと」は震災がきっかけとなって茨城で活動し始めた様々な人が集まったネットワークです(現在 31 団体加盟)。「人と人のつながり」を作っていければと活動しています。「ふうあいおたより」の発行もそのひとつです。

編集後記

新年おめでとうございます。

本年も「ふうあいおたより」をどうぞ宜しくお願い致します。今回の「ふくしまレシピ」のぜんざい美味しそう～。凍み餅を覚えておくと、色々なお料理にアレンジできそうですね。

お正月はお雑煮をいただきますが、私は関東風、主人は京都風。しばらくは京都風も作っていましたが、今はすっかり関東風です。その地方や地域で、味付けも食材も違うって面白いですね。皆さまの地域はどのような感じてましたか?

本年も色々な情報を皆様にお届けできるように、編集スタッフ一同頑張ります。(事務局 山本)

おたよりの感想、要望や質問、活動の提案などふうあいねっと事務局までお聞かせください。皆さんの「声」を今後の編集や企画の参考にさせていただきます。

連絡先: ふうあいねっと事務局 原口・山本まで

住所: 〒310-0056 茨城県水戸市文京 2-1-1 茨城大学教育学部 A413

TEL: 029-233-1370 (月～金 8時半～17時)

FAX: 029-233-1370 (24時間 OK)

Email: fuai.sta@gmail.com

事務局の電話番号が変わりました!

イベント一覧

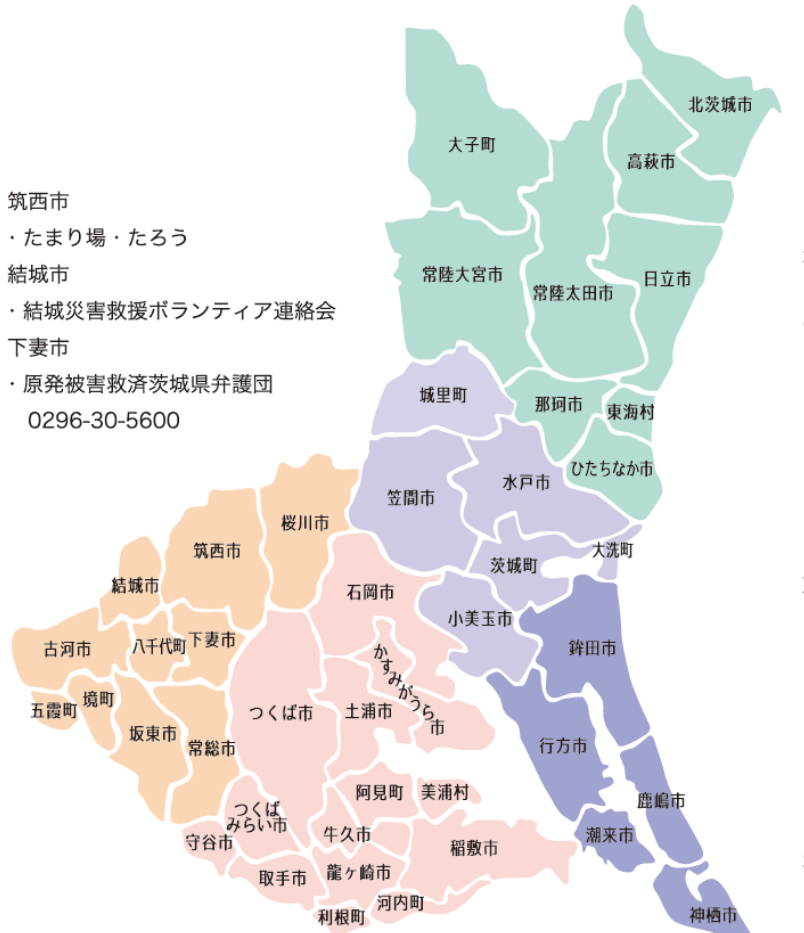
見るところに貼ってお使いください。

開催日時	地域	イベント	会場	参加費	申し込み・問い合わせ先
1/21(水) 12:30~16:00	水戸市	学生企画「3.11後の福島 ~今、伝えたい思い」 上映・報告・講演会	茨城大学人文学部 水戸市文京2-1-1	無料	茨城大学人文学部 植葉×茨城大プロジェクト 029-228-8427(原口)
1/24(土) 未定	日立市	ボウリング大会 スポーツ交流会	未定	未定	Happy Ibaraki Fukushima 時間・場所・金額はお問い合わせください 080-3459-7171(石田)
1/29(木) 11:00~12:00	水戸市	「ふうあいおたより」でおなじみ 3分エクササイズ 体操	ふうあいねっと事務局 水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部A棟413	無料	ふうあいねっと 029-233-1370
1/31(土) 説明会 10:00~12:00 個別相談 13:00~16:00	水戸市	原子力損害賠償相談会 相談会	茨城県総合福祉会館	無料	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 0120-330-540 (事前予約必要)
2/1(日) 10:00~15:00	つくば市	ココロもカラダもほっかぽか! ~つくば×福島大学煮会~ 交流会	松代交流センター	未定	Tsukuba for 3,11 090-1487-8753
2/4(水) 13:00~15:00	水戸市	フラワーセラピー 交流会 フラワーアレンジ	赤塚ミオス	500円/1人	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
2/8(日) 13:30~16:00	水戸市	手前味噌作り 教室	水戸市大場市民センター	300円/一人	茨城県健康生きがいづくり 協議会 029-247-8158
2/8(日) 13:00~16:00	水戸市	ふうあい「語り場」 交流会	赤塚ミオス(中研修室)	無料	ふうあいねっと 029-233-1370
2/10(火) 10:00~12:00	つくば市	自主避難者交流会 交流会	つくば市松代交流センター	無料	自主避難者交流会 自助グループ 協力:NPOフュージョン社会力創造パートナーズ 080-6733-2312(林崎) 080-5568-4139(渡部)
2/15(日)(予定) 11:00~16:00	水戸市	アロマリフレクソロジー パワーストーンセラピー セラピーの施術(要予約)	水戸市国際交流センター(予定)	500円/1人	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
2/18(水) 未定	日立市	未定 専門家による勉強交流会	茨城県県北生涯学習センター	無料	Happy Ibaraki Fukushima 時間・内容はお問い合わせください 080-3459-7171(石田)
2/19(木) 10:00~14:00	東海村又は ひたちなか市	憩カフェ お裁縫&おしゃべり 交流会	未定 (詳しくはお電話ください)	100円	未来への風いちから 080-5496-6261(オギ) 090-9201-3642(谷田部)
2/22(日) 10:00~14:00	土浦市	蕎麦打ち会	土浦市・小町の館	300円/一人	茨城県健康生きがいづくり 協議会 029-842-5390
2/25(水) 10:00~12:00	水戸市	ハーブティ講座 交流会	カモミールミルク	500円/1人	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
3/1(日) 10:00~12:30	水戸市	じゃあまいいかカフェ お話し会	赤塚ミオス	100円/1人	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
3/4(水) 10:00~14:00	那珂市	パン作り教室 交流会	ふれあいセンター ごだい 那珂市後台1491-43 029-353-2666	500円/1人	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
3/8(日) 13:30~15:30	阿見町	稲敷・牛久市等 県南地区避難者交流会	阿見町本郷ふれあいセンター (阿見町荒川本郷1374-4)	無料	NPOフュージョン社会力 創造パートナーズ 090-6188-4739(武田)
3/8(日) 未定	日立市	未定 交流会	茨城県県北生涯学習センター	未定	Happy Ibaraki Fukushima 時間・内容はお問い合わせください 080-3459-7171(石田)
3/9(木) 10:00~14:00	東海村又は ひたちなか市	憩カフェ お裁縫&おしゃべり 交流会	未定 (詳しくはお電話ください)	100円	未来への風いちから 080-5496-6261(オギ) 090-9201-3642(谷田部)
3/11(水) 13:00~16:30	取手市	祈りと感謝の集い 震災イベント	取手市民会館大ホール 後援:取手市、取手市社会福祉協議会、 福島県(申請中)	無料	取手・南相馬・双葉浜通りの集い 祈りと感謝の集い 実行委員長(三浦)
3/11(水) 14:30~18:00	土浦市	3.11東日本大震災復興祈念 心のあかりプロジェクト 震災イベント	土浦川口ショッピングモール505 共催:土浦市社会福祉協議会、 浪江町役場生活支援課、 浪江町復興支援員、茨城駐在員	無料	市民ネットワーク わくわくプロジェクト土浦 029-826-6390(日辻)
3/15(日)~3/16(月) 3/15:8:00~ 翌日18:00	福島県原発 被災8町村 会津若松市	原発被災地の復興状況を知る バスツアー 原発被災8町村の復興状況を知る	原発被災8町村と 会津若松市にある大熊町 役場。1泊。	5000円/一人	茨城県健康生きがいづくり 協議会 029-247-8158
3/15(日) 13:00~17:00	水戸市	心と体の相談会 相談会	赤塚ミオス	無料	じゃあまいいかねっと 070-6565-2940
3/21(土・祝) 11:00-15:30	つくば市	春のピクニック 交流会	豊里ゆかりの森 (つくば市遠東676)	500円/1家族	福島乳幼児妊産婦ニーズ対応 プロジェクト茨城チームJr. 029-228-8427 (茨大・原口研究室)

ふうあいねっと関係団体地図

ふうあいねっとの関係団体をご紹介します
市町村・団体名・電話番号の記載です。

- …県北地域
- …県央地域
- …鹿行地域
- …県南地域
- …県西地域



筑西市

- ・たまり場・たろう

結城市

- ・結城災害救援ボランティア連絡会

下妻市

- ・原発被害救済茨城県弁護団
0296-30-5600

北茨城市

- ・NPO 法人 ウィラブ北茨城 0293-43-1208

常陸太田市

- ・NPO 法人 まいづる 19

日立市

- ・Happy Ibaraki Fukushima (H.I.F)
080-3459-7171
- ・ふくしま妊産婦乳幼児母子支援 とらうべ
- ・こどもみらいひたち

東海村

- ・東海村社会福祉協議会

ひたちなか市

- ・未来への風 いちから
080-5496-6261 090-9201-3642

土浦市

- ・市民ネットワーク わくわくプロジェクト土浦
- ・ふくしまキッズ・カフェ
- ・ドリームキッズ・ふくしま

つくば市

- ・筑波学院大学 オフ・キャンパス・プログラム
029-863-3456
- ・NPO 法人 フェージョン社会力創造パートナーズ
090-6188-4739
- ・元気つく場会 いい仲間つく浪会
090-7790-9574 090-7076-2374
- ・Tsukuba for 3.11
- ・ルピナスの会 絵本でスマイルアゲイン
- ・筑波大学 うつくしま体操教室

取手市

- ・取手・南相馬・双葉浜通りの集い
090-8785-1766

龍ヶ崎市

- ・3.11 支援チーム りゅうのしっぽ
- ・NPO 法人 ユーアンドアイ

水戸市

- ・ふうあいねっと事務局 029-233-1370
- ・茨城 NPO センター・コモンズ 029-300-4321
- ・福島県避難者支援課 024-523-4250
- ・茨城県防災・危機管理課(佐原) 029-301-5977
- ・法テラス茨城 法律事務所 050-3383-5390
- ・浪江町復興支援員 茨城県駐在 080-6294-8828
- ・積小為大の会 080-1657-7286
- ・ふうあいママの会
- ・福島乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト 茨城チーム (茨城大学内) 029-228-8427
- ・一般社団法人 茨城県健康生きがいづくり協議会
029-247-8158
- ・茨城福祉移動サービス団体連絡会 029-300-4321
- ・じゃあまいかねっと 070-6565-2940
- ・茨城県生活協同組合連合会 029-226-8487
- ・茨城県社会福祉協議会
- ・水戸市総合教育研究所(震災対応派遣教員 木曜日)
029-244-6730
- ・茨大東北ボランティアサークル Fleur
- ・茨城県精神保健協会 029-241-3352

小美玉市

- ・いばらきコープ